

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 25 日現在

機関番号：12606

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24720042

研究課題名(和文) ブーシェによるボーヴェ製作所のタピスリー研究：下絵と関連素描のカタログ化の試み

研究課題名(英文) Study of the Beauvais Tapestries after Boucher: Catalogue of the Related Pictures and Drawings

## 研究代表者

小林 亜起子 (Kobayashi, Akiko)

東京藝術大学・美術学部・助手

研究者番号：00618275

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,300,000円

研究成果の概要(和文)：この研究は、フランスのロココ時代に活躍した画家フランソワ・ブーシェ(1703-1770)によるボーヴェ製作所のタピスリー連作に関連付けられる下絵・素描についての総カタログの作成を試みるものである。ブーシェは1734年から55年までの間に6つのタピスリー連作の下絵を提供しているが、それに関連する作品についての包括的な研究は皆無であった。本研究では、油彩画114点、素描93点のデータを整理し、その成果としてブーシェがボーヴェ製作所のために制作したタピスリー下絵と関連素描を初めてカタログ化することができた。またタピスリーデザイナーとしてのブーシェの経歴に関する新知見を得ることができた。

研究成果の概要(英文)：The present research project aimed to compile a catalogue of the paintings and the drawings related to the tapestries after Francois Boucher (1703-1770), woven at the Beauvais tapestry manufactory. Boucher designed six tapestry series between 1734 and 1755 but his works related to these tapestry designs had not received much scholarly attention. Based on the observation and analysis of 114 paintings and 93 drawings, I produced the first catalogue of the works of Boucher related to his Beauvais tapestries. As a result I could get several new insights into Boucher's career as a tapestry designer, and these ideas were presented as individual articles published during the research period.

研究分野：美術史

キーワード：素描 装飾美術 タピスリー ブーシェ ロココ 18世紀美術

## 1. 研究開始当初の背景

研究開始の段階で、ブーシェの素描と絵画のカタログ化を試みた研究はふたつあった。第一に、アレクサンドル・アナノフとジョルジュ・ウィルデンシュタインによる絵画作品のカタログ・レゾネ(1976)、第二に、アレクサンドル・アナノフによる素描に関するカタログ・レゾネ[第1巻のみ刊行](1966)である。両研究において、タピスリーに関連付けられる絵画・素描については断片的に指摘される程度であった。またこれらはいずれも刊行からすでに半世紀近くを経ており、その情報は研究の現状に照らして多くの改訂の必要があった。一方、ブーシェのタピスリーについては、イーディス・スタンデン、ネッロ・フォルティ=グラッツィーニ、チャリサ・ブレメール=デイヴィッドによるいくつかの個別的論考が挙げられるが、包括的に扱った研究はこれまで存在しなかった。実際、世界各国に所蔵されるブーシェのタピスリーは断片的に公刊されるにとどまり、関連素描や下絵については、種々の展覧会の作品カタログのなかで単発的に刊行されるケースが多い。したがって、最新の研究に基づき、ブーシェのタピスリーに関連付けられる絵画・素描をカタログ化する取り組みは、これまで試みられていなかった。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、フランソワ・ブーシェによる、ボーヴェ製作所のタピスリーに関連付けられる下絵・素描を網羅した総カタログを作成することである。ブーシェはこの製作所のために6つのタピスリー連作を手がけ、合計40点前後の下絵を提供した。それに基づき織られたタピスリーは、現在知られている範囲で440点近くにのぼる。本研究は、これらのタピスリーのために描かれた現存する下絵と、タピスリーに関連付けられる絵画・素描作品を網羅的に精査し、作品の主要な所蔵先であるフランスを中心に可能な限り実見調査を行い、タピスリー作品と関連付けながら詳細なデータを付したカタログを作成するものである。一般にブーシェのタピスリーに関連した作品研究は、絵画研究に比べて立ち遅れており、この領域における基礎資料を集成することも本研究の目的である。

なお、ボーヴェ製作所のタピスリー関連作品のカタログ化を試みる本研究は、ボーヴェ製作所のタピスリーの下絵画家としてのブーシェの制作活動に関する包括的な論考である研究代表者の博士論文(『タピスリー・デザイナーとしてのフランソワ・ブーシェ ボーヴェ製作所のための制作活動について』2010年度、東京藝術大学美術研究科後期博士課程学位論文)の内容を補完・発展させるものでもある。

## 3. 研究の方法

本研究は、ブーシェによるタピスリーの下絵と関連素描のカタログ化を最終的な目標とするため、研究方法は次の手順で行われた。

- (1) カatalogのデータベース項目の作成
- (2) 作品の写真、画像収集
- (3) 文献データの収集
- (4) 作品所蔵先での調査
- (5) タピスリーとそれに関連付けられる絵画・素描に関する検討
- (6) データの入力

以上の作業を順次実施することが本研究の主要な作業となる。カタログは国際的寄与を考慮して、カタログはフランス語による表記を行った。

## 4. 研究成果

- (1) 中心となる成果(カタログ制作)

本調査により、フランソワ・ブーシェがボーヴェ製作所のために手がけた6つのタピスリー連作に関連付けられる下絵(油彩画・グリザイユ・エスキス)114点と素描93点のデータが、画像データとあわせてデジタルデータとしてカタログにまとめられた。これによって、カタログ・レゾネをはじめとする文献のなかで、これまで断片的に言及されてきたこれらの作品が、改めてブーシェのタピスリーとの関連性のもとで一つにまとめられ、容易に参照・検索することができるようになった。このようなカタログ化されたデータは、画家のタピスリーの下絵制作プロセスを理解する上で、基礎資料として高い有益性を有している。

本研究成果は、ブーシェ研究のみならず18世紀のタピスリー研究全般にとって重要な基礎研究と位置づけられる。一般にタピスリーをはじめとする装飾美術研究は、その分野の少数の専門的研究者によって個別に行われ、絵画研究に通常適用される図像学的な分析や様式的分析が適用されることは少ない。しかし、装飾美術が絵画・彫刻と並び重要性を有したロココの時代の美術史研究においては、装飾美術の分野に本格的な美術史研究の方法を適用することは確実に大きな意義をもつものと考えられる。本研究は、そうした試みのための基礎作業となった。

- (2) ブーシェの下絵・素描に関する新発見

タピスリー下絵に関連付けられる作品を調査する中で、いくつかの新発見を得ることができた。第一に、これまでタピスリー連作のための準備素描とみなされてきた人物習作について、同時期のブーシェの油彩画やパトローネージの関係からその人物モデルを特

定することができた。さらに、それによって、ブーシェのタピスリー連作がどのような意図で制作されたのかについての新たな見解を提示できた。この成果は、2014年に論文「ブーシェのタピスリー連作 高貴なパストラル とポンパドゥール夫人—下絵と関連素描に基づく考察」として執筆・公刊した。

第二に、タピスリー下絵の整理・検討を行う中で、これまで看過されてきた下絵に描かれた人物モチーフの選択に注目することで、ブーシェのタピスリー連作が画家自身そしてボーヴェ製作所にとっていかなる目的を持って制作されたものであったのかを検討し、新たな見解を示すことができた。この成果は、2015年に論文「ブーシェのシノワズリー—版画とタピスリーを中心に」として執筆した。

第三に、ブーシェのタピスリーに関連する作品考察を通じて、ブーシェが手がけたボーヴェ製作所のタピスリー連作と、この製作所より格上のゴブラン製作所のためにタピスリー下絵を提供していたライヴァル画家との競合関係について、これまでまったく指摘されることのなかった知見を提示できた。この成果は、2015年12月に開催された国際シンポジウム『フランスのタピスリー』にてフランス語の口頭発表 (François Boucher et les tapisseries de Beauvais : une approche dans le contexte de la rivalité avec la manufacture des Gobelins) によって発表された。なお、この成果は報告書として刊行される予定である。

第四に、ブーシェのタピスリー下絵に関するカタログ化の作業を通じて得られた個別的成果は、ブーシェがボーヴェ製作所のために手がけたタピスリー連作に関する包括的な研究書『ロココを織る フランソワ・ブーシェによるボーヴェ製作所のタピスリー』のなかで組み込むかたちで執筆、2015年に刊行を予定している。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

### 〔雑誌論文〕(計 5 件)

小林亜起子「ブーシェのシノワズリー—版画とタピスリーを中心に」、『東京藝術大学美術学部論叢』12号、2015年、119 - 124頁 (査読有)

小林亜起子「ブーシェのタピスリー連作 高貴なパストラル とポンパドゥール夫人—下絵と関連素描に基づく考察」、『五浦論叢』(五浦美術文化研究書紀要) 21号、2014年、53 - 70頁 (査読有)

小林亜起子「ブーシェのタピスリー連作 高貴なパストラル と古典的牧歌文学の伝統」、『エクフラシス：ヨーロッパ文化研究』(早稲田大学ヨーロッパ・中世研究所) 4号、2014年、104-116頁 (査

読有)

Akiko Kobayashi, « Bacchus et Erigone, tapisserie de Beauvais d'après François Boucher », *Aspects of Problems in western art History* (東京芸術大学西洋美術史研究室紀要), vol. 11, 2014, p. 61-68 (査読なし)

Akiko Kobayashi, « Apollon et Clytie, tapisserie d'après François Boucher : étude sur les sources iconographiques et l'intention du choix thématique », *Aspects of Problems in Western Art History*, vol. 10, 2013, p. 55-66 (査読なし)

### 〔学会発表〕(計 1 件)

Akiko Kobayashi, « François Boucher et les tapisseries de Beauvais : une approche dans le contexte de la rivalité avec la manufacture des Gobelins » (フランス語) 国際シンポジウム「フランスのタピスリー」(主催：アラクネ (ARACHNÉ)、フランス国立研究機構後援) パリ、フランス国立美術研究所 (INAH) 2014. 12. 13

### 〔図書〕(計 1 件)

小林亜起子『ロココを織る—フランソワ・ブーシェによるボーヴェ製作所のタピスリー』中央公論美術出版、2015年 (刊行予定)

### 〔その他〕

ブリジット・ガリーニ「風俗画の聖なる次元」、『ルーヴル美術館展 日常を描く—風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄』(小林亜起子訳) 27 - 33頁 (展覧会カタログ翻訳)

小林亜起子「原典資料翻訳 フランソワ・ブーシェの競売目録—序文とシノワズリーのコレクション」*Aspects of Problems in western art History* (東京芸術大学西洋美術史研究室紀要) vol. 12, 2013, pp. 119-124 (原典資料翻訳) クロード・ミニョ「建築家フランソワ・マンサール、そして、J・アルドワン・マンサールとヴェルサイユ宮の芸術」(小林亜起子通訳・要約) 『日仏美術学会会報』2014年、33号、68頁 (日本大学主催国際シンポジウム「ヴェルサイユ宮とその芸術」基調講演要約)

小林亜起子「ゴブラン製作所におけるブーシェのタピスリー下絵制作活動に関する基礎研究」、『高梨学術奨励基金年報』2013年度、243-250頁 (報告書)

小林亜起子「展覧会評：ヴェルサイユと古代」*Aspects of Problems in western art History* (東京芸術大学西洋美術史

研究室紀要) vol. 11, 2013, pp. 105-109  
( 展覧会評 )  
アントニー・V・グリフィス『西洋の版画—技法と歴史』( 小林亜起子、越川倫明ほか 4 名訳 ) 中央公論美術出版、2013 年 ( 翻訳書 )  
小林亜起子「シャルダン、ウードンの作品解説」、「著名美術史家列伝」、『ベルリン国立美術館展』2012 年 196-199、306-307 頁 ( 展覧会カタログ作品解説・コラム執筆 )

## 6 . 研究組織

### (1)研究代表者

小林亜起子 ( KOBAYASHI, Akiko )  
東京藝術大学・美術学部・助手  
研究者番号 : 00618275